



居酒屋

居酒屋 喜作



☎3430-7388 東和泉3-6-4シャングール和泉B1F 営業=午後5時~午前2時、火曜休み

和泉多摩川郵便局近くの「居酒屋 喜作」は、旬の素材を使ったさまざまな一品料理と地酒が手頃な値段で楽しめる居酒屋。

海鮮を中心にオリジナルの創作料理など常時50種以上のメニューがある。川海老唐揚げ(500円・以下税別・写真下左)、牛もつ煮込(450円、写真下中)、たこ刺身(650円、写真下右)、ニラ玉(500円、写真上左)、名物カ

ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピックなどでスポーツへの関心が高まる中、地域のスポーツ振興の中心となっている狛江市体育協会の会長にことし5月に就任した秋元恵司さん(67)に話を聞いた。

「井上城治前会長の跡を継いで6代目の会長になりました。井上前会長と一緒に副会長になり、その下で10年間働いた経験は大きな財産です。体協では理事会や運営委員会、役員会などの会議があり、会長は会議の進行役を務めます。また、市スポーツ推進審議会の議長を務めるほか、上部団体である都体協の代表者連絡会などにも出席します。さらに狛江市民まつりや青少年問題協議会などにも名を連ねており、来年の市制50周年記念のスポーツイベント検討委員会の副会長も務めます。市内で開かれるスポーツイベントや加盟団体の大会などにも出席しますから、副会長の頃よりかなり忙しくなりました」 「体協は22の加盟団体で成り立っており、各団体を発展させることが最も大切な役割です。各団体とも高齢化などの影響で会員数が減る傾向にあります

季節感あふれる多彩な料理を手軽に



き揚げ(850円、写真上右)などが人気。焼き魚定食(800円)などの定食類や支那そば(550円)なども好評だ。店主の小野岩治さん(62)は岩手県二戸市出身で、中学卒業後に上京、天ぷらなど和食を中心とした有名店などで働き、さまざまな調理技術を身に付けた。昭和54年から狛江の割烹に勤め、60年に独立して猪駒通りに居酒屋をオープン、平成14年に現在の場所へ移転した。川崎市中央卸売市場北部市場で仕入れ

た魚介類や狛江産の野菜など新鮮な食材に加え、郷里の二戸市から秋はきのこ、春は山菜など季節の野菜や地酒を取り寄せて提供している。カウンター10席、テーブル2卓、小上がりテーブル2卓の合わせて30席あり、常連の男性客を中心に



小野さん

魅力的な団体となるよう指導者の養成や人材発掘に努めたい

が、会員を増やすために、それぞれが魅力的な団体となるよう指導者の養成に力を入れるとともに、指導者となる人材発掘にも努めたいです。また、新しいスポーツも増えていますので間口を広げ加盟団体を増やすことも考えたいです」 「市民まつりで体協は、市民グラウンドでスポーツ祭を開きます。グラウンド・ゴルフ、ターゲット、ふあふあドームのほか、ことしはノルディックウォーキング講習会も開きますので、多くの人にぜひ来ていただきたいですね」 「来年は東京2020オリンピック・パラリ

ンピックが開催されますが、体協としてはパラスポーツ普及促進事業を展開しているの、車いすバスケットボールなどのパラスポーツを視察し、その経験を生かして体験会などを催すなど、パラリンピックの盛り上げに力を注ぎたいと考えています」 **秋元恵司さんの横顔**=岩戸北の石材店に次男として生まれ、世田谷区立明正小学校から私立世田谷学園中学・高校に進学。虚弱体質を治すため入った卓球部で中学2年から選手として頭角を現し、連勝記録を重ね、卓球の特待生として駒澤大学へ進んだ。卒業後は日本通運へ入社し仕事をしながら同社卓球部に所属し、実業団の選手として活躍した。30歳頃から狛江市卓球連盟の理事となり連盟所属チームのコーチを務めた。29歳で退職して選手を引退、石材店を継ぐとともに、狛江市消防団や狛江青年会議所などで地域活動に取り組んだ。平成21年に狛江市体育協会の副会長に就任した。妻と息子夫婦、孫の5人暮らし。趣味は将棋。

狛江市体育協会会長 秋元 恵司さん

とれたて農産物直売所

谷田部英雄さん(70)、恵美子さん(68)夫妻と長男の良光さん(43)は、年間約40種の野菜と柿、ミカンなど果樹を栽培、自宅脇の直売所で販売する。週2回の直売日には数種類の野菜を並べるが、人気が高く、すぐに売り切れることが多い。これからはブロッコリー、カリフラワー、小松菜、ホウレンソウ、白菜、大根、サトイモなど秋・冬野菜のほか、樹齢100年余りのイチヨウから採れるギンナンが人気。



谷田部恵美子さん・良光さん・英雄さん

所在地=東和泉2-9-4 販売=原則5月下旬~12月の月・土曜日 時間=午前8時~売り切れまで

英雄さんと良光さんは別の仕事もしているため、農作物を計画的に栽培するとともに、恵美子さんと親戚などが苗の植え付けや草むしりなど日常の管理を手伝っている。谷田部さんたちは「おいしい野菜を提供するため、土作りにも力を入れ、有機肥料を使うなど、ていねいに栽培するように心がけています」と話している。



11月の狛江農産物

サトイモ



縄文時代から栽培されていたといわれるサトイモは秋から冬にかけてが旬。主に和食で使われるが、食用にするのは肥大化した地下茎で、形や大きさなどにさまざまな種類がある。市内では多くの農家が栽培しており、10月から12月にかけて出荷する。丸みがあり、表面に傷のない、重いものを選ぶと良い。保存するときは、土をつけたまま新聞紙などにくるんで風通しが良い冷暗所などに置く。冷蔵庫に入れると低温障害を起こして早く傷むので不可。

「音楽がむすぶ世界」をテーマに文化フェスティバル

「こま文化フェスティバル2019」が16日午後3時からエコルマホールで催される。一般財団法人狛江市文化振興事業団が主催、音楽の街-狛江 エコルマ企画委員会が企画制作するもの。今回は「音楽がむすぶ世界」をテーマに今年から来年にかけて開催されるスポーツイベントや、令和2年に狛江市が市制施行50周年を迎えることを記念し、そのプレコンサートとして企画した。プログラムは「新日本音楽の代表作」「ジャポニズムとの出会い~オール・ドビュッシープログラム」「情熱のオペラ」「未来に伝える名曲」「今に生きる日本語」「時代をむすぶ音楽たち」に分けて、宮城道雄「春の海」、ドビュッシー「前奏曲集第1巻より『亜麻色の髪の乙女』」、サラサーテ「カルメンファンタジー」、モーツァルト「ディヴェルティメント」など邦楽やオペラなど世界各国の名曲として伝え続けられる音楽を演奏する。狛江在住の書家の田坂州代さんが初めて作詞した「一杯」も披露される。フィナーレには出演者全員でラグビーワールドカップ2019の公式ソング「ワールド・イン・ユニオン」やフィギュアスケーターの荒川静香さんが平成18年のトリノオリンピックで金メダルを獲得した時に使用したプッチーニ「誰も寝てはならぬ」などを演奏する。ピアニストの渡辺文子さん、箏曲家の平野裕子さんら市内在住や狛江ゆかりの演奏家を中心にベテランから若手までが多数出演し、バラエティーに富んだ演奏を披露する。入場料は1,000円(小・中学生無料)で、エコルマホールでチケットを販売中。



平野さん 渡辺さん

つなげよう 音楽の架け橋

問い合わせ☎3430-4106 一般財団法人狛江市文化振興事業団。

絵手紙2,000点 エコルマで公募展

絵手紙公募展が10月11日(土)と13日(日)にエコルマホール6階展示・多目的室で開催された。絵手紙を通じて交流をはかろうと一般財団法人狛江市文化振興事業団の主催、「絵手紙発祥の地-狛江」実行委員会の企画制作で催された。「私のお気に入り」をテーマに北海道から九州まで全国の愛好家から寄せられたものと、市内の小・中学校の授業で子どもたちが書いた絵手紙合わせて約2,000点が展示された。作品は花、野菜、風景、行事、人物、動物などバラエティーに富んでおり、訪れた人たちは会場いっぱい並んだ絵手紙に圧倒されながらも1点ずつ見入っていた。会期は当初3日間の予定だったが、台風19号の影響で12日は中止となった。11日も荒天に見舞われたが、新潟県長岡市や埼玉県から来た人もあり、主催者を喜ばせた。

会場いっぱい並んだ絵手紙

住まいと暮らしの調和を創る

新築木の家は安心・安全 自然と調和 癒し空間

健康優良100年住宅

リフォーム、全面改装 大得意

ご相談、プランづくり無料 建築士専門家が対応します

0120-565-321 フリーダイヤルまでお気軽に! 受付時間9:00~18:00 土日営業

つなげよう 音楽の架け橋

のーてんリフォーム URL▶http://www.token-h.co.jp Email▶info@token-h.co.jp 狛江市岩戸北1-7-9